
ネットカフェ難民

よしぼう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネットカフェ難民

【Nコード】

N1709D

【作者名】

よしぼう

【あらすじ】

難民だなんて人は言うけれど、ほんとの幸せの定義って…。今一度、見直す時代に来たんじゃないかと。

（前書き）

ある日突然、社会の歯車から落ちこぼれ、そこで体験した日々の過
ごし方で、普段見えないものが見えた様な…。立ち止まる機会が必
要だと確信しました。

朝5時に、この狭い空間の中で起床。
うつろな目でパソコンの画面の時計を確認する。

今日の最高気温が7度と天気予報の画面。

世間は師走だなんて言ってるけど、社会の歯車から脱輪した僕は
いつもと変わらぬ毎日の繰り返し。

今から寒い外界に出て

いつも様に図書館に通い今日の一日を計画する。

人はどこに向かって行こうとしてるのか…

人は何をしようとしてるのか…考える時間があればあるほど、人生
哲学の分野に発展してしまう。

三面記事のニュース…真面目で大人しい人が過ちを犯す…どんな人
だって幸せになりたいに決まってる。学歴や身分や環境が違って、
みんな幸せに向かって生きてるはず。

だけど、世の中そんなに公平なもんじゃない。

どこまで走っても、同じ道をぐるぐる回るものだっている。進路変
更なんてどこにもない。決まり決まった迷路にはまり込んでる。

その日暮らしの財布の中身を、そつと…

期待と裏腹に千円札が3枚。

当たり前かと現実に戻りながら、明日の仕事の予約を電話する。

毎日、眠い目を我慢しながら朝早くに出勤して、夜遅くに疲れ切っ
た顔して帰宅する…。

これが世間の常識。誰ひとり文句など言う人はいない。むしろ、誉
め讃えるに違いない。

間違った事…いや、錯覚か麻痺してるのか、美德という言葉は、な

にかしら意味を履き違えてる気がしてならない。

少し高めの家賃のマンションに住んで、勤続10年の貯蓄もそこそこあるサラリーマン。

かたや、その日暮らしのうだつの上がらないネットカフェ難民…難民って表現もどうかと思うけど。

僕にとつての幸せは

決していいマンションに住む事でもなく

決して勤続10年を目指す事でもなく

決して貯蓄をする事でもない。

被害妄想…なんてひとつもない。人間が人間らしく生きるという事…難しくしてるのは、結局人間。喜び、怒り、哀しみ、楽しみ…喜怒哀楽の表現を素直に出来る人が、果たしてどれだけいるだろうか。生きる中で、普通に暮らす程、難しいものはないと感じる。当たり前障りのない…まるでロボットの様に振る舞い続ける事が、社会の一般常識と人は認知する。

午後9時。またいつもの窮屈な個室に入る時間。窮屈ながら、僕には居心地のよい空間。しゃべってはくれない画面に、いつも心で話してる。

暗いとかネクラとかオタクとか…そんな代名詞だけで、この空間は語れない。

改めて…財布の中身を確認する…ひよつとして、お金の価値がわかる人って、無防備なこんな僕の事なんじゃないだろうか。

万歩計が1万を超えた今日の散策は、眠りと共に終わりを迎えた。

（後書き）

ほんとの幸せって、人それぞれだけれど、決して形やものではない事だけは確か。皆さんが普段思ってる疑問や矛盾も、ひょっとしたら見過ごしてしまってる気がします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1709d/>

ネットカフェ難民

2010年10月9日07時16分発行